

ブラジル日本移民は來年で丁度二十五年になる、二十五といへば人間にすれば學校もすま兵役勤務も終りまさに獨立した一人前の男である、此間彼等は果してブラジルで何を造りしであらう、吾人は此機會を逃しつて過去の業績を振り返つてみやう彼等は勤勉なるコロノとして僻地で評判を取つた、その結果歐洲移民を國で禁止してゐる昨今は日本移民だけでは足りてゐるべきでない、伯國政府の來てないやである、コロノ生活

定むべき業より其の間暇があるに於ける者を見せた小じなややつて居る者もある、然し金持ちか云つて在伯日本人は二十五年も居て殆んど何物も擱んで居らず、何一つ意義ある仕事をしてない第一何一つ自分でやうやつて行かない、不景氣が來た、直ぐ八五低賣を請願する、學校も母國に政府の補助なしにはどう建てない、商業組合同様である、先づに獨力でやうて行かないのみならず、何ぞと云ふと母國政府をシヤブルことばかり考へてゐる、

これ然しながら決して移民の頭ではな、主として國民性の然らしむところである、日本の國民教育傳統が海外移民を行ふやうに出来てないからだ、二十五年も居て何一つ掴み得ず、何一つ意義ある仕事をし得ない云ふのは、取りも直さず得伯日本人の體が浮腫でありブラジルでの労働を假りの生活と心得え、本氣に此國へ落付いて終始しやうとの考へが無いから、口には水住だの土着だのと自身の内面的欠陥にある

勉める契約コロノと云ふ餘りなきがたくも無い折衝をもちつた所まである、二十五年掛つて何も掴み得ないでない移民が何所か外にあるであらうか、あつたら御目にかりやない、日本政府も少しは考へたらよからう、今日の體で行けば今後二十五年の間か五十三年返つて恐らくは同じことを繰返すに過ぎない日本移民の前途樂觀を許さず、恐ろしきは排日に非ずして、何年経つても、にえらぬ斯うした

我が國は痛痒を感ぜず

我が國は痛痒を感ぜず

上海事件突發以來日本政府が斷乎たる決意を以て徹底的に初志を貫徹するの態度に出たので支那側では俄かに狼狽し英米佛三國政府に對し凡ゆる策を弄して事件に容れせしむべし力を用ゐると同時に續開規約第十五條に従ひ國際聯盟臨時總會開催の件を連日事會に要請したが十二連事國會議に於て之を拒絶する結果支那總理事會を経ず自己の責任を以て協會開催の要請することに決つた、此總會は第十五條第九項末段の規定により自動的に開

までも稍々もすれば英米佛等の列強に風潮を了解されさるるため帝國に不利を招く惧があるため帝國に不利を招く惧があるため帝國に不利を招く惧があるため

此際適當の人物を選んで各國に特派し其了解を得べく努力

應せられるのであるが、會議の決定は總會議事と現理事會との開
 議などから速急に事は選ばれまいと見られ外務省では左の通り
 觀察してゐるが、即ち
 支那總理事會が第十五條第九項前段の總會召集に反對したの故
 支那側が現理事會に不信任の意を表示し我國と諸國間に軋軋
 激を作り仍つて自國に有利の位置に専ひん企めたるに對し憤
 激を買つた爲であらう、總會の期日は理事會によつて決定さ
 れるが總會が開催されることとなつても總會では日支紛争は
 理事會が既に第十一條に基いて發動してゐるから
 單に意見又は勧告を附して事件の審議を理事會に移譲される
 であらう、それで日本は聯盟會議の開催について如何等痛痒
 を感ぜず一切之を無視して第十五條第二項の陳述等を出す必
 ずべきである
 と進言するものあり政府として
 も其趣旨には全然同感なるもの
 と適當な人物が見當らないので
 之を具體化されるに至らないが
 其實其必要に迫られるに到らば
 實現の可能性はあると見てゐる

上海派遣軍の
 損害

と、尙問題に懸念。懸念規約第十五條はアメリカが聯盟加入を拒絶した最大理由で、聯盟は此第十五條によつて行動する限りアメリカは表裏共に協力出陣す、讓官の機會がない譯で、此所でこれ迄の聯盟との協調關係が破壊さるべく、此問題に對するアメリカの態度は注目されてゐる。

上海事件費は
公債で支辨

我が上海派閥軍司令部全部の發給によれば十四日迄に一將校十三下士官戦死し、三將校四下士官が負傷した

高岡専太郎
午後三時より
六時まで
コンシェルジュ
フルタイム
電話二一四〇七五番

と干渉的態度に出てゐるアム
カ政府も日本側の決意が動かし
べからざるものなるを曉り今
時平辭去した

開き國家の爲に戦苦闘せるを
謝、懇ろなる挨拶をわけて十二

最後通牒を發し

敵の後退を要求

陰慘の氣満つ上海

軍の陣容は十五日金澤將軍
後援部隊の到着を待つて完了
たので、茲に我が軍としての
は判明したかつたが、此處を
或後退を頭張つて日本軍の侵

に對えんとは數次に亘つて彼

支那軍が現在の如く敵對行爲を續ける以上我軍は積極的に之を消滅せざるを得ざるに至る。

又、

○村井總領事を通じて十六日午
○吳上海市長に向ひ警告の通牒
○京鐵道沿線に據み且つ蔣介石
○十九軍團は續々兵員を増加し
○ゐる際ならば多數を持んで成
○不遜の態度に出づるやも測ら
○す万一の場合を慮り上海始め

近の市民は、昨々たるもの
ある、たゞ南京政府當局のみ
この意味を通じ引續き第十九軍
日本^の決意^を露^くす^る以前^に

日本に勸告

二、二國代表聯盟理事會は十六午前勸代表バウル・ボンク、氏議長の下に開會、先づ過激黨勢に絶つる英米佛伊四國代表を日本兩國に對して急した勸告書を要外相に報告せる全文を讀み、次いで新たに南京政府の要求に從ひ日本政府に對し嚴厲行爲の即時停止に關する勸告を發する提議をなし、午後會に於て可決、勸告文の起草をボンク議長署名の上佐日本代表に手交した、其要領を日本が聯盟の一員として從世界平和確保の爲盡して來と同様の趣旨を以て今次の

滿蒙拓殖 近く滿蒙の新天地に東洋の
といふので之を機會に早
てゐる。此計畫は從來の個
進出の失敗に鑑み、在郷軍
人的移民を送り出すとするもの
の移設を集中であると、具体案
に依れば

計畫 一

希望の農民在郷軍人等の家族を募集せしめ、一團の單位を二千家族とし之を滿蒙の各地に集團的に

航空母艦

去十日の軍縮會議に於て我が松平全權は航空母艦の全廢

と主力艦艦砲口徑の縮小とを提議して何れも列國に大衝動を與へ動かすれば大に第味と云ふんとする軍縮會議に一光明を點じたる

即ち、航空母艦は海洋戰術上國防よりは攻撃を第一とし將來太平洋上に事端發せばどうしても航空母艦の勢力に支配される點からしても航空母艦を最少限度に縮少すべきだ

との根本義から航空母艦の廢止は當然であるといふので從來我國を好戰國視した他の列國では此提議に對し意外の眼をみはけ松平代表の策は好評を博してゐる

獨立宣言本日發表

【六日海太特電】一、金剛機關の統一に付本日並
藏廟基、張景惠
天省長、熊希齡、官銀行總辦吳
緒、吉林黑龍江省長、滿鐵總
氏等は今朝十一時城内に於て著

國家建設に關する滿蒙獨立問題
及び獨立宣言發表の時期等に付
等協議の結果左の決定を見た
一、新國家は銀本位制を採用
若しは金本位制を採用する

したが更に午後幾北平より飛行機で來訪した馬占山と共に所謂四巨頭會議を開いて協約の結果新光に滿蒙興業與政務委員會を組織し十七日第一回會議を催して新國家經政案を討論することにまつた、新國家の國是は

一、新國家は完全に支那國家から獨立す
二、列國との國交は親善を期し隣邦と共に共存共榮を圖る
三、門戸開放、機會均等を期し産業の開闢を圖つて世界經濟に貢獻す
四、司法制度を完備し民權尊重
尙、滿蒙經濟界は新國家の建設を須つて更生するが、幣制の統

由國光る新國家が建設され
滿蒙拓殖計畫が企てられ
的移民や一部資本家の單獨
基幹とする屯田資成の集團
既に各府縣に於て滿蒙進出
内容に就いて傳へられる所
殖して一村を形成せしめ毎

CASA
MIZUKI
COM
PRAÇA
Malxa Postal, 911 - Telef

弊店取引方法ハ御照
會次第御回報申上候

珈琲コミサリオ

カーザ東山

ミツカミ・イ・コンパニヤ

サ
ン
ト
ス
市

電話セントラル二八三七號

郵 函 九一一號

電信略號 TOZAN

他處で當店にて負擔致し即ち全く
無手数料にて増りの受取人へ御送
り届け申上候
三、金子は現現金封入、郵便爲替又は
銀行小切手にて當店へ送致し被下
候御横濱正金銀行勘定とし
Banco Commercial do
Estado de São Paulo
又は御便宜の方
Banco Noroeste do
Estado de São Paulo
御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申付實は必
忘れず當店へ御送附下さいたく候
日本貨定定期金利息六ヶ月以上四分二厘
預金利息六ヶ月以上三分七厘
以上三厘
御貸定期預金
送金用紙は御請求次第直に御送可
不審の點は當御郵便にて御送付被下
金通帳は當御郵便にて御送付可申上
御申込の際最寄郵便局御指定相成り候
御便宜に有之候

確かでアテになる
プロムベルグの
マキナ・農具・驅虫劑
御入用の方は
日伯社代理部
同リンヌ支局
へ御申越下さい責任を以て迅速に御取次致します

第十五條適には絶對不服

何處までも主張する

我輩遣軍が日本居留地を本據としてゐるので上海外國租界に關係ある諸國は我軍の租界撤退を妨害するに努めてゐるが我國經濟關係の克復せんことを冀むるは事件の一日も早く解決して兩

軍部並に外務當局とも
皇軍の居留民撤退は居留民の
生命財産を危殆に瀕せしむる
虞れあり絕對に不可能である
且つ居留地に戰陣を布ける故
支那側の不法強逼の挑戰に對
す自衛上防戦側なる爲で其責任
は何れも支那側に在る
とて頷として應ぜず、村井總領
事が十五日付で吳市長になした
警告にも

ひ目的達成の爲に政府の公式外交にのみ頼るなく民間より代表者を派して裏面より國民外交によつて解決を促進せしめようとの總編輯當局にも之が達成外に付申請せしが犬養首相始め外相も其意を諒とし人物登考中とのこと遂に松岡洋右氏を特派する

事件解決の爲

上海事件重大化の影響を受けて

【上海十一日發】敵は今朝一時から四時まで湖北一帶より逆襲し來て去月二十八日以来の猛烈なる戰闘行はれ我軍疲乏之を反撃退却せしめん

【同上】我爆撃機三戰闘機三は敵陣地に襲撃せる後八時半爆撃を開始、陽光を浴びて紀元館の住き居るの說諭として爆弾を敵陣地に投下し尤

【吳松十二日發】我軍が蘆溝橋より吳松陣地の敵は機關銃

近く十數臺の愛國號出現

滿洲事變に亞ぐ上海事件で陸軍
省へ飛行機獻納の申出が續々現
はれて來た、十六日朝も神戸の
實業家川西清兵衛氏と社長とす
る日本毛織會社廿員一同より陸
軍省へ飛行機十五機(一寄附及
する旨申出あり、茲に戰國機及
び爆撃機各一臺十五萬圓)を寄
ることになつた

聖州自決主義をかざす

臺の愛國號が出現する譯

滿蒙移住運動 具体化

近く成立すべき滿蒙新國家へ在郷軍人の集團的移住希望者が日樂に増加せんとする傾向にあるに鑑み陸軍では滿蒙を墳墓の地として移住せんとする在郷軍人の爲に積極的行動を開始することとなり調査官を任命して特に滿洲に關する調査を嚴密關係官

憲政克復促進運動並に盛州執政官任命問題で聖州民と聯邦臨時政府との間に深い溝が築かれ殊に民主黨は公然と絶縁を宣言するに其態度を明にしてゐるが、未だ盛州民自身が各黨派に分岐し激進的民主、共和の二黨は相對峙して讀らなかつたが何れも其最終の目的が憲政復歸、盛州自決の一問題に歸着して一致するといふので先國から此二黨幹部間に提携問題で頭し遂に十五日阿萬幹部會で最後の協議を行つた結果舉州一致で進むこ

提督を與へた之が爲敵は恐れを

軍人の集團的移住希望者

飛びバレーを襲ふものとあり此風潮は恐らくバイヤに
此州民の態度はいたゞ臨時政府
育願部を動かし、翌十六日は突
然聖州民間より二、三執政官僚
補が政府側より出て來た程で
ある、未だ本藩締切りに至らぬ
人が据えられるや決定を見はか
つたが此度こそは州民を満足さ

木陸相は十六日新聞記者
して左の如く語つた

陸軍の方針として、必要の限
軍隊を輸送、初志を貫徹す
決心であるが、蔣介石の第十
軍團を討伐するには現在の兵
力で充分であらうと思ふ云々

海を中心とする極東事變
大さし世界平和の爲め

多數議員がサイモン外相に對するやう要請する所があつた。

印人工解化器感全

賣バナ、園
 ユア線、十九アルケル、バ
 樹、万四千株内成樹八千株
 にアバカシ二千株、其他果
 日本、水流、家屋二軒、カ
 マット付、支拂條件好、願
 する。Sr. Martins, Rua Solon2,

御料理
お手紙で、お美味い
皆様方の料亭——

お壽司、あうどん
おそば、その他
御定食も是非一度
お出館も致します
電話 二一九四八
あなやぎ

開業御
今般リンス市
館に旅館オリ
致しました
親切、丁寧、

披露

園前(元三井族
ンタルを開業

寄宿舎

一、三月一日よ
手す

一、小學部各

中學

生募集
寄宿舎の増築に着
年
部

井上蔵相の 金輸出問題考察

金輸出問題考察

今

金輸出停止は、金本位制の原則に反するものである。金本位制の原則は、金貨の自由な輸出と輸入を許すことにある。金輸出停止は、この原則を破るものである。金輸出停止は、金本位制の原則を破るものである。金輸出停止は、金本位制の原則を破るものである。

農産物 生産高の割合に 輸出量僅少

一九三〇年度全伯國農産物生産高の割合は、輸出に占める割合は僅少である。一九三〇年度全伯國農産物生産高の割合は、輸出に占める割合は僅少である。

買上珈琲の 支拂高

買上珈琲の支拂高は、昨年度に比べて若干の上昇を認める。買上珈琲の支拂高は、昨年度に比べて若干の上昇を認める。

BANANA 南伯海岸地帯の 新富源

バナナは南伯海岸地帯の新しい富源である。バナナは南伯海岸地帯の新しい富源である。

伯巴亞マテ茶會議 不調に終る

伯巴亞マテ茶會議は、不調に終わった。伯巴亞マテ茶會議は、不調に終わった。

製糖業者に 金融開始

製糖業者に金融開始は、業界の発展に資するものである。製糖業者に金融開始は、業界の発展に資するものである。

伊太利人の 在外數

伊太利人の在外數は、増加傾向にある。伊太利人の在外數は、増加傾向にある。

珈琲は 燃料に不適

珈琲は燃料に不適である。珈琲は燃料に不適である。

經濟往來

經濟往來は、国際貿易の発展に寄与する。經濟往來は、国際貿易の発展に寄与する。

大坂商船株式會社

定期航路

船名	航路	出帆日
日本丸	日本・南洋	三月三日
日本丸	日本・南洋	三月十日
日本丸	日本・南洋	三月十七日

Hotel Santos

Rua 7 de Setembro, 132, Santos

お休み心地の良いお部屋
おいしいお食事で評判の
ホテル・サントス

Moreira Viegas & Cia. São Paulo

MACHINA: Estação Itariry, Linha Santos-Juquía

不景氣を追ひ
拂ふべく

を臺舞檯

目指す

彼女達は明朗

そして健康に

溢れてゐる

「彼女達は明朗で健康に溢れてゐる」と、これは、彼女達の生活の中心である。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。彼女達は、明るい心で、健康な体で、生活を送っている。

Dr. Palamono
Oculista
眼科専門
アラバカラ

Dentista
BIRIGUI
Villa Nipolandia
伊藤達馬

中須薬局
ノロ線リンス市
郵便一〇三

子葉藥
防迫菓子店
アラバカラ

今日井鏡
聖市フルクード街三

坂本なを子
聖市フルクード街三

とらふ
コンデナ

Dr. OMURA
R. Conde do Pinhal, 15
São Paulo
大村隆之

Missão Japonesa no Brasil
サンパウロ
大村隆之

Y. KINJO
CIRURGIAO DENTISTA
Av. Condessa São Joaquim, 26.
TEL. 7-3384 - S. PAULO
金城山戸

CLINICA DENTARIA
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029
院醫科齒
第一真上村
丸スダーセル・ブ・デ・コ
丸スダーセル・ブ・デ・コ

翻譯法律
CAIXA 2078
杉山英雄

局支スンリ同 部理代社伯日

[illegible]

「今度は此奴等フライにしてく
下だ、そして後だ、照
らだ、高度さへ保つて
夫だ、まあ撮影をすま
い、仕事だ、だが、ど
てゐるのだろうか？ 首
出して見たが何もない
第三彈、どれか機體五
に來るものはない
「爆撃！」中尉の
聲だ、よしやつてくれ
上空進入、南よ
上、高度千回、回轉を
める、垂直になるまで
けて得意の急降下
の第一彈を見舞ふ
機首を起して御馳走
振返る……
「一 陣地右方五十
今度此奴等フライにしてく
情もあるが、注意を侮れ
不規則な蛇行を繼續し
敵陣地後方へ、そこで一彈、
其行方を見極める間もなく直に
半上昇反轉、空中に半圓を描い
て急降下に移る、時速二百五十
ノ、電光の如く突進、高度計
大さきく動いて忽ち八百、七百
六百、思はず機銃の引金に指
が觸れる、ダダダダダダ
が小銃のよい音だ、機體は下
けつた、瞬間に水平飛行に移
る、敵兵の頭上をかすめて陣地
前方に飛去る、顧みれば我が爆
彈は集團の中心より約三十以
爆發、附近の敵は騎馬もとも
び飛んたところだ、銃に七發
残るは只一發、機首を左方百八
十度に急旋回、機銃を引く、
故陣地、彈が出ない、蛇行飛行
を繼續しつゝ故陣地排除、大規模

其市グイスコンヂ・パラナイバーニ三八	日 月 日 新流川
GABRIEL GONÇALVES & CIA. Rua General Carneiro, 35-53-55 Caixa Postal, 388 S. Paulo	
贈品、金具、 陶器、チンタ、 印刷機、 英國製入ルデス リス Fennef フォオルミシーダ クレカヨリナド "Polvo" 印殺蟻 餅等 御購入の証は先 づ斯界の老舗た る店を訪問ね 下さる 商品は細て保 付価格低廉 特別優待一英園 ベルテンシウク Fennef 由 生物學研究所分 拆済 子キロ入一罐 1キロ罐多\$8000	農家諸彦 
	

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XVIII

São Paulo — Quinta-feira, 18 de Fevereiro de 1932

Num. 768

NIPPAK SHIMBUN

Director-Proprietario:

SACK MIURA

Redactor da pagina brasileira José Solé

Redacção, Administração e Officinas

Rua da Liberdade, 144A e 146

Caixa Postal, 378

Telephone, 2-3926

Endereço Telephonico "NIPPAK"

SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil:

Por anno 30\$000

Por semestre 15\$000

Número avulso \$500

Para o Exterior:

Por anno 60\$000

ANNUNCIOS

Temos a disposição dos interessados

uma tabela completa de preços para an-

uncios nestalolia. Telephone 2-3926

Commemorando a fundação do Imperio

Commemorou-se a 11 do corrente mais um anniversario da fundação do Imperio do Japão, tendo assistido ás manifestações que se realizaram na capital cerca da 60.000 pessoas que marcharam numa demonstração de forças latentes da nação. Ao passarem os entusiastas jovens pelo palacio imperial foram passados em revista pelo general Kikuchi e pelo major Nagata, tendo todos prorompido em entusiasticas aclamações ao imperador Hirohito e a nação.

No palacio imperial o mikado offereceu um grande banquete a que assistiram 800 convidados de destaque entre os quaes os representantes do corpo diplomatico estrangeiro e do paiz.

A situação economica em 1932

Um communicado especial da U. P. para as "folhas" desta capital, a respeito da situação economica do Japão durante o corrente anno, diz: — «Os trabalhadores de collarinho estão apertando os seus cintos para um anno difficil durante 1932.

A decisão do partido governamental Seiyukai, chefiado pelo velho Inukai, de abandonar o padrão ouro, immediatamente depois de ter sido o governo organizado, em meados de dezembro ultimo, trará como consequencia uma inflação drastica durante o anno actual. Desse modo, os trabalhadores assalariados serão as victimas principaes.

Os alugueis, as roupas e o custo geral de vida commecaram a augmentar logo que foram divulgadas as disposições governamentais relativas á prohibição de exportação de ouro e, segundo a opinião dos jornaes, essa alta continuará por mais algum tempo.

Os salarios, de outro lado, não foram proporcionalmente augmentados, ficando em alguns casos abaixo do custo de vida actual.

Enquanto isto, os banqueiros e especuladores tiveram uma excelente colheita em consequencia do colapso do "yen".

Um grupo de capitalistas nipponicos, que tinha adquirido dolares americanos durante alguns mezes antes de ser abandonado o padrão ouro, teve um lucro de mais de 60 milhões de "yens", segundo informa a imprensa vernacular.

Noticia-se tambem que os industriaes de tecidos de Osaka ganharam muito dinheiro. Compraram elles mais de tres milhões de fardos de algodão nos Estados Unidos ao tempo em que o "yen" estava ao par.

Agora vão transformar todo esse carregamento em tecidos e roupas, que serão vendidos á base do "yen" depreciado.

Noticias e telegrammas do Japão

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN e dos jornaes)

Desmentido o accordo com a Russia

Os boatos espalhados a respeito do pretendo accordo secreto concluido entre o Japão e os Soviets a respeito da Manchuria e outras questões connexas, não correspondem á realidade e resultam tão somente de um mal entendido segundo relata um telegramma de Moscou.

Taes noticias somente podem ser oriundas da confusão com as propostas de não aggressão do pacto sovietico-japonês, feitas pelo sr. Litvinoff, commissario dos Estrangeiros, ao sr. Yoshizawa, por occasião da recente passagem deste ultimo por Moscou.

714 candidatos ás proximas eleições geraes

TOKIO, 15 — Encerrou-se á meia-noite a inscripção dos candidatos ás proximas eleições geraes. O total das candidaturas eleva-se a 714, ou seja 129 menos do que no pleito anterior. Esse total distribue-se da seguinte maneira: — Partido governamental (Seiyukai), 356; opposição (Minseitō), 234; proletarios, 32. O restante é constituído por candidatos das correntes politicas de menor importancia.

Encerradas as inscripções verificou-se que, de accordo com a lei vigente, 24 membros do partido governamental e 12 do opposicionista serão reeleitos sem opposição.

Prisão do assassino do ex-ministro Inouye

TOKIO, 10 — O assassino do ex-ministro das Finanças, sr. Inouye, foi preso no momento do crime, por pessoas que o cercavam. Um cúmplice logrou, entretanto, fugir, carregando o revólver de que se servira o criminoso.

O assassino que ainda é joven, declarou que praticara o crime para vingar os camponeses, cuja precaria situação attribuia á politica de compressão do ex-titular das Finanças.

Agindo contra os agitadores politicos

TOKIO, 10 — As autoridades resolveram agir energicamente contra os agitadores politicos, afim de evitar a repetição de attentados como o de que foi recentemente victima o ex-ministro Inouye. A frequencia de taes crimes, é geralmente attribuida á indulgencia com que o publico japonês encara os actos de violencia praticados por pretensos moveis patrioticos.

A travessia do Pacifico por uma aviadora

Miss Juanita Burns, está organizando um perigoso reide sobre o Pacifico, tendo já obtido um aparelho para realizar essa arriescada travessia. Seu itinerario ainda não foi escolhido. Se esse reide for bem succedido, será a segunda travessia directa do Pacifico, e ao mesmo tempo a realisada por uma unica pessoa. A sta. Burns, será igualmente a primeira mulher a cruzar esse oceano.

O governo pretende protestar contra as tarifas inglezas

TOKIO, 11 — Corre com insistencia que o governo japonês vae protestar junto á Inglaterra contra a elevação das tarifas aduaneiras britannicas, que considera uma violação aos direitos decorrentes da clausula de nação mais favorecida. A chancellaria nipponica seria, entretanto, contraria a esse protesto.

O conflicto Sino-Japonês

VARIAS NOTICIAS

As autoridades consulares de diversos paizes continuam a empregar todos os esforços afim de que seja conseguida uma tregua duradoura entre as forças combatentes.

Ao que parece, até o presente momento, a não ser pequenas interrupções nos combates, conseguidas directamente dos commandados das forças em operações, não se fez progresso nenhum notavel para a conclusão final de um armistício.

Os consules da Inglaterra e da França, muito especialmente têm trabalhado intensamente para se fazer a paz. Esse esforço das autoridades consulares alli será secundado com grande eficiencia pelos ministros plenipotenciarios dos Estados Unidos, da Inglaterra e da França, em Nankin que estão em caminho da zona de guerra.

De outro lado, os animos, na China, também já não estão mais tão exaltados e varias organizações publicas chinesas já enviaram um appello á Liga das Nações e aos governos dos Estados Unidos, Inglaterra, França e Italia, afim de que exerçam uma acção conjuncta perante o governo de Tokio tendente a que o Japão aceite a proposta de paz que lhe foi apresentada recentemente.

A impressão geral em Shanghai e todos os circulos é de que es-

ses esforços collectivos em prol da paz terão resultados satisfactorios sendo mesmo possivel que se consiga concluir um pacto final de paz.

Um communicado do general Uyeda

O general Uyeda, commandante do corpo expedicionario japonês em Shanghai, publicou o seguinte communicado:

"E' comprehensivel que, em consequencia da attitudo provocadora das tropas chinesas irregulares a concessão internacional se haja tornado theatro de scenas de desordem e de terror. O meu desejo é alliviar os residentes de Shanghai do pesadelo da actual situação. Caso, entretanto, a missão das tropas japonezas fosse desconhecida pelas forças chinesas que ameaçam a concessão, tomarei todas as medidas necessarias e efficazes para salvaguardar as vidas e os bens dos subditos nipponicos.

Estou de outro lado, disposto a colaborar com todas as potencias interessadas no sentido de supprimir radicalmente as perturbações que reinam na concessão".

40 milhões de yen para a despesa militar

TOKIO, 12 — O comité do Conselho Privado approvou o credito de quarenta e quatro milhões de yen como despesas militares adicionais para a campanha da China.

Produção Agrícola do Japão e o intercambio com o Brasil

Da "The Japão Advertiser Annual Review", a "Revista da Sociedade Rural Brasileira" do mez de Janeiro transcreveu os dados abaixo sobre a produção agricola do Japão, em 1930.

Ferra cultivada, 5.850.000 hectares (em alqueires paulistas . . . 2.340.000) que equivale a 16 % do territorio nacional japonês.

Produção agricola: figura em primeiro lugar o arroz, com 107.426.000 hectolitros, e, a seguir, os seguintes productos: (só os que nos podem interessar)

trigo	38.998.000	hectolitros
feijão e batatas	1.059.000	contos de reis
legumes e flores	2.043.800	" "
fructas	654.000	" "

Stock dos animais vivos, em 1930:

gado vaccum	1.448.000	cabeças
cavallos	1.490.000	"
porcos	706.000	"
gallinhas	48.258.000	"
(a produção de ovos é de	2.528.302.000	"

Industria do Peixe

Mais ou menos 1.491.000 pessoas vivem da industria do peixe no Japão. A produção dessa industria foi em 1930, de 1.648.000 contos de reis (nossa exportação total do Brasil, foi, no mesmo anno, de 2.907.354 contos de reis).

Importação do Japão, em 1930.

Não nos referimos, nesta parte, a outros productos que não os que nos interessam.

Algodão em rama, 573.000 toneladas.

Infelizmente, do Brasil o Japão não comprou algodão algum, enquanto que do Egypto, que é muito mais afastado comprou 11.000 toneladas.

Café em grão 10.872 contos de reis (do Brasil apenas 2.448 contos)

assucar	204.748	" "	" "
carne	70.968	" "	" "
ovos	22.536	" "	" "
fumos	78.512	" "	" "
couro e pelles	69.720	" "	" "
crina de animais	14.000	" "	" "
ossos de animais	14.200	" "	" "

Pode-se ver que ha muitos productos que podemos vender ao Japão.

Intercambio

O Japão exportou para o Brasil, em 1930, productos no valor de 7.640 contos de reis e importou, apenas 2.448 contos de reis. Essa importancia é correspondente á nossa exportação de café, a qual representa só 22% do consumo total desse producto no Japão. O valor da carne e dos ossos que exportamos para esse paiz é insignificante, não alterando a porcentagem do nosso commercio.

A exportação total do Japão em 1930 foi de 11.760.000 contos de reis.

A importação foi, no mesmo periodo, 12.368.400 contos de reis. Os calculos acima são de valor approximado, tendo sido feitos a 14 de setembro de 1931.

O Japão e as Olympiadas

Para as proximas Olympiadas de Los Angeles se encontram inscriptas 45 nações, estando em terceiro lugar o Japão quanto ao numero de atletas que enviará á disputar o certamen de 1932.

Calcula-se em um total de 1700 atletas que irão a Los Angeles estando em 1.º lugar os Estados Unidos com 330 concurrentes; 2.º a Alemanha com uma turma de 100 e a seguir o Japão com 90 atletas.

Nas Olympiadas de 1928, em Amsterdam, os japonezes dispenderam mais dinheiro que qualquer outro concorrente com as suas turmas, tendo sahido vencedores de tres provas e na de marathona conseguiram o quarto lugar. Para as proximas Olympiadas o governo já concorreu com a elevada somma de 560.000\$000 certo de que o esporte japonês e a cultura physica muito terão a lucrar com o comparecimento de seus representantes ao certamen maximo mundial.

Este anno os japonezes pretendem levantar mais alguns titulos além dos já obtidos em 1928.

Eis como um jornal brasileiro r'ata o esforço e o inicio do esporte olympico japonês:

— "Quando o Japão concorreu pela primeira vez nos Jogos Olympicos, estava resolvido a progredir de verdade.

Os Estados Unidos não intervirão no conflicto

Os circulos politicos acreditam que o governo do Estados Unidos depois de haver procedido a uma troca de vistas com os outros paizes interessados e de haver estudado detidamente a situação, persiste no proposito de não intervir actualmente no conflicto sino japonês.

A maneira pela qual o Japão respondeu ás propostas de paz suggeridas pelas potencias de accordo com a iniciativa do proprio governo de Tokio teria impressionado vivamente os meios officiaes norte-americanos os quaes consideram a attitudo ulterior daquelle paiz como um signal claro de que qualquer nova tentativa viria a fracassar. A impressão em Washington é que o Japão tem a intenção de proseguir na acção afim de salvar o seu prestigio por meio de uma operação militar decisiva e que possa justificar de futuro a sua eventual retirada.

Os Estados Unidos que continuam inquietos em face da situação, prefeririam praticar uma politica de expectativa vigilante e só tomar as medidas uteis á protecção dos bens e das vidas dos seus subditos e julgariam vans quaesquer novas tentativas de intervenção diplomatica quando é evidente a opposição nipponica. Essas tentativas poderiam acarretar o risco de uma recusa humilhante da parte do governo de Tokio.

DR. S. TAKAOKA

MEDICO-OPERADOR

Rua Cons. Furtado, 45

TEL. 2-4075

S. PAULO

Os chineses querem restabelecer o commercio com os japonezes

Os negociantes estrangeiros estabelecidos em Shanghai juntamente com os chineses, continuam a manifestar-se vivamente a favor do restabelecimento das relações commerciaes com o Japão, interrompidas desde que teve inicio a campanha das organizações anti-japonezas.

O novo embaixador norte-americano em Tokio

O presidente Hoover assignou em fins do mez p. p. o decreto de nomeação do sr. Joseph Gray, actual embaixador dos Estados Unidos na Turquia, para igual cargo em Tokio, em substituição do sr. Forbes, que ha pouco deixou expontaneamente o posto.

Nessa occasião os esportes athleticos não estavam bastante adeantados na terra de Oda e Nambu.

Sabendo que observando é que se aprende, os japonezes não perderam tempo. Prepararam apenas os dois unicos atletas que possuíam. Um corredor de marathona e um "sprinter". Os dois extremos das provas athleticas estavam alli representados, porque no momento os japonezes não tinham saltadores, arremessadores, nem nada, que pudessem levar ao grande certamen.

Preparando com o maximo cuidado esses dois atletas, tud dentro dos reduzidos conhecimentos technicos que possuíam os japonezes enviaram ás Olympiadas uma turma assim composta: uma bandeira nacional, dois atletas, dez jornalistas e cinco photographos.

Essa foi a representação japoneza que concorria pela primeira vez ás Olympiadas com duplo fim: representar o Japão e aprender.

E, de facto, aprenderam muito. Não precisa dizer que o marathona e o "sprinter" nada fizeram.

Contudo, os jornalistas e os photographos trabalharam de verdade e o progresso tecnico, formidavel, que hoje o Japão possui deve exclusivamente a esses poucos rapazes da sua primeira representação aos Jogos Olympicos. Elles não se descurdaram de nada. Visitaram todas as fortissimas "équipes" concorrentes. Estudaram os treinos de cada um. Viram e photographaram um salto com vara de um americano, arremesso do peso de um allemão, a sahida de um "sprinter" francez, as passadas largas e firmes dos corredores finlandezes, anotando tudo, religiosamente, sem perder um detalhe sequer.

E durante todo o desenrolar dos Jogos Olympicos, os jornalistas e photographos japonezes foram incançaveis.

Voltando á sua patria, não descaçaram. Em larga e continua propaganda por todo o paiz, num trabalho diario, persistente, mostraram a todos, o que viram lá fora e o que se devia fazer para o completo progresso do athletismo japonês. Tudo com uma orientação perfeita e intelligente.

Essa propaganda chamou logo a attenção do governo, que, sem hesitar, contractou varios treina dores norte-americanos especializados em varios esportes, começando, assim, no Japão, uma obra de trabalho ferreo e disciplinado, visando um unico fim: a completa diffusão, em todo o paiz, da educação physica.

E á medida que iam apparecendo os progressos desse trabalho firme e bem orientado, o esporte passava a ser parte integrante da vida interna do Japão.

Não se comprehendia uma es cola, uma universidade, um quartel, uma cidade, sem uma forte "équipe" de natação, de athletismo, de tennis, de "base-ball", de bola ao cesto, ou de varios outros esportes.

O governo, apoiando de toda a maneira a educação physica no paiz, contribuía formidavelmente para o exito dos japonezes nas "équipes" representativas em torneos no estrangeiro.

E agora o Japão se fará representar nas Olympiadas de Los Angeles, com uma representação fortissima que está sendo apontada como uma séria concorrente ao magno certamen.

Ahi está o fructo do trabalho que estes ultimos annos tem sido feito lá no Japão e que partiu daquelle primeira viagem ás Olympiadas. Hoje já não precisam mais de aprender. Vão levar cincoenta atletas, cincoenta nadadores fora outros em varias modalidades esportivas. O governo, que sempre auxiliou os esportes, acaba de votar a verba de 560.000\$000 para a representação japoneza ás Olympiadas de Los Angeles, certo de que é esse um dinheiro optimamente empregado.